



## 2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社シー・エス・ランバー 上場取引所 東  
 コード番号 7808 URL <https://www.c-s-lumber.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 千代助  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加賀美 淳 (TEL) 043-213-8810  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日~2023年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	18,994	3.6	2,613	△14.9	2,585	△15.1	1,824	△14.0
2022年5月期第3四半期	18,326	60.2	3,072	227.1	3,046	239.8	2,120	257.9

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 1,848百万円(△11.9%) 2022年5月期第3四半期 2,098百万円(236.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	990.02	985.95
2022年5月期第3四半期	1,157.45	1,148.93

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	20,857	8,594	41.2
2022年5月期	21,031	6,885	32.7

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 8,594百万円 2022年5月期 6,885百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年5月期	—	0.00	—		
2023年5月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年5月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 20円00銭(創業40周年記念配当)

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.5	3,100	△23.7	3,000	△25.5	2,000	△27.7	1,084.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年5月期3Q	1,850,100株	2022年5月期	1,841,700株
② 期末自己株式数	2023年5月期3Q	215株	2022年5月期	192株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年5月期3Q	1,842,624株	2022年5月期3Q	1,832,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の制限が緩和され、景気回復の兆しがみられましたが、円安による為替相場の変動、ウクライナ情勢の長期化等による資源価格の高騰などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する住宅関連業界におきましては、建築資材や住設機器、物流コストの上昇により、住宅建築価格の上昇傾向が続いております。当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は前年同期比0.23%減となり、とりわけ持家の着工戸数が大きく減少しております。住宅ローン金利上昇懸念と急激な物価高が住宅取得における消費マインドを鈍らせており今後の経営環境への影響を懸念しております。

このような状況のもと、当社は、中期経営計画で新規事業と位置付けた建材販売の受注活動を活発化させ、また製造部門の組織を強化することで生産性の向上に努め、高品質の加工材の提供に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,994百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益は2,613百万円(同14.9%減)、経常利益は2,585百万円(同15.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,824百万円(同14.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① プレカット事業

当セグメントにおきましては、ウッドショック終息による木材需給緩和、国内在庫の増加、荷動きの低下により、木材価格の下落が鮮明になっている中、建築資材価格の高騰、職人不足等の影響もあり、競合先との受注競争が激しくなっております。このような中、取引先との信頼関係を維持するための継続的な訪問営業の展開と休眠先、新規先への訪問による受注数増に向けた活動を行いました。加えて製材や配送の一部を内製化している強みを活かした歩留まりの追求、配送効率向上等にも努めてまいりました。

プレカット事業の合計出荷棟数は、4,900棟(同0.0%増)、出荷坪数は、184千坪(同2.0%減)と前年同期を下回る結果となりました。部門別としましては、在来部門では出荷棟数3,606棟(同2.6%減)、出荷坪数124千坪(同2.7%減)、ツーバイフォー部門は出荷棟数1,294棟(同8.3%増)、出荷坪数59千坪(同0.4%減)となりました。

その結果、売上高は16,063百万円(同3.5%増)、セグメント利益は1,985百万円(同22.7%減)となりました。

#### ② 建築請負事業

当セグメントにおきましては、既存の取引先からの受注数増に向けた営業強化、新規先開拓に努めましたが、着工棟数157棟、うち、大型木造施設は9棟となり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。なお、完工棟数は、前期着工済みを含め140棟、うち、大型木造施設6棟となりました。また、生産性の向上による利益率の改善に努め、セグメント利益は前年同期を上回る結果となりました。

その結果、売上高は2,733百万円(同14.6%減)、セグメント利益は93百万円(同104.9%増)となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、当四半期において新規の保育所開設がなく前年同期にあった礼金収入がないこと、賃貸物件の購入を進めている関係で、税金等のコスト計上が賃貸収入に先行して発生しているため、セグメント利益は前年同期を下回る結果となりました。なお保育所以外の賃貸物件を2件取得し、保育所21物件、福祉施設等の11物件から安定した賃料収入を維持しております。

その結果、売上高は568百万円(同6.0%増)、セグメント利益は391百万円(同6.9%減)となりました。

#### ④ その他事業

当セグメントには、不動産販売事業を区分しております。

不動産販売事業におきましては、土地21区画を販売、木造注文住宅3戸を建築着工し、前期着工済みを含め完成住宅7戸を引き渡しました。

その結果、売上高は635百万円(同121.6%増)、セグメント利益は103百万円(同1,865.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて174百万円(0.8%)減少して20,857百万円となりました。これは主に、賃貸不動産(純額)が538百万円増加したものの、現金及び預金183百万円、受取手形、売掛金及び契約資産190百万円、棚卸資産が278百万円減少したことに加え、建物及び構築物(純額)が65百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,883百万円(13.3%)減少して12,263百万円となりました。これは主に、社債が300百万円増加したものの、支払手形及び買掛金440百万円、電子記録債務174百万円、未払法人税等836百万円、未払消費税等(流動負債その他)が222百万円減少したことに加え、長期借入金が390百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,708百万円(24.8%)増加して8,594百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益計上によって利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.2%(前連結会計年度末は32.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績はおおむね計画どおりに推移しており、現時点におきまして、2022年7月15日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。通期の連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,921,866	4,738,572
受取手形、売掛金及び契約資産	4,210,492	4,019,876
棚卸資産	1,939,368	1,660,862
その他	88,660	91,566
貸倒引当金	△3,862	△3,583
流動資産合計	11,156,525	10,507,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	784,122	718,259
土地	1,448,145	1,448,145
建設仮勘定	47,210	13,847
賃貸不動産（純額）	6,668,658	7,207,577
その他	329,605	249,421
有形固定資産合計	9,277,741	9,637,249
無形固定資産	110,680	130,768
投資その他の資産		
投資その他の資産	543,055	638,042
貸倒引当金	△56,205	△56,294
投資その他の資産合計	486,849	581,747
固定資産合計	9,875,270	10,349,766
資産合計	21,031,796	20,857,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,270,367	1,829,905
電子記録債務	2,065,466	1,891,050
短期借入金	600,850	690,000
1年内償還予定の社債	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	862,210	746,319
未払法人税等	1,016,001	179,447
賞与引当金	—	70,070
工事損失引当金	—	2,621
災害損失引当金	3,114	—
その他	1,332,295	919,110
流動負債合計	8,250,305	6,528,525
固定負債		
社債	250,000	550,000
長期借入金	4,949,009	4,558,144
完成工事補償引当金	75,234	58,295
役員退職慰労引当金	156,006	160,460
退職給付に係る負債	174,952	175,995
資産除去債務	4,704	4,701
その他	286,067	226,881
固定負債合計	5,895,975	5,734,479
負債合計	14,146,280	12,263,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	532,650	536,152
資本剰余金	318,094	321,597
利益剰余金	5,934,394	7,611,300
自己株式	△489	△555
株主資本合計	6,784,649	8,468,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,974	117,005
繰延ヘッジ損益	△2,303	—
為替換算調整勘定	2,195	8,555
その他の包括利益累計額合計	100,866	125,560
純資産合計	6,885,515	8,594,056
負債純資産合計	21,031,796	20,857,060

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)
売上高	18,326,837	18,994,593
売上原価	13,459,961	14,462,887
売上総利益	4,866,876	4,531,705
販売費及び一般管理費	1,794,582	1,918,607
営業利益	3,072,293	2,613,097
営業外収益		
受取利息	848	334
受取配当金	6,560	4,063
受取賃貸料	32,695	33,845
受取保険金	5,193	6,482
その他	19,142	18,609
営業外収益合計	64,441	63,334
営業外費用		
支払利息	50,440	40,426
社債発行費	—	12,039
賃貸費用	18,009	17,957
その他	21,890	20,578
営業外費用合計	90,340	91,002
経常利益	3,046,395	2,585,430
特別利益		
固定資産売却益	1,280	617
特別利益合計	1,280	617
特別損失		
固定資産除却損	2,653	2
特別損失合計	2,653	2
税金等調整前四半期純利益	3,045,022	2,586,046
法人税、住民税及び事業税	934,871	734,396
法人税等調整額	△10,589	27,423
法人税等合計	924,281	761,819
四半期純利益	2,120,740	1,824,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,120,740	1,824,226

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	2,120,740	1,824,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,141	16,031
繰延ヘッジ損益	1,370	2,303
為替換算調整勘定	1,450	6,359
その他の包括利益合計	△22,320	24,694
四半期包括利益	2,098,420	1,848,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,098,420	1,848,921

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,625,008	2,878,641	536,483	18,040,134	286,703	18,326,837	—	18,326,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	894,783	321,131	54	1,215,968	—	1,215,968	△1,215,968	—
計	15,519,791	3,199,773	536,537	19,256,102	286,703	19,542,806	△1,215,968	18,326,837
セグメント利益	2,568,845	45,786	420,293	3,034,926	5,250	3,040,176	32,117	3,072,293

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間の取引消去32,560千円、未実現利益の調整額△384千円が含まれております。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,175,628	2,615,472	568,264	18,359,365	635,227	18,994,593	—	18,994,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	888,121	118,257	351	1,006,730	—	1,006,730	△1,006,730	—
計	16,063,749	2,733,730	568,615	19,366,095	635,227	20,001,323	△1,006,730	18,994,593
セグメント利益	1,985,338	93,827	391,146	2,470,312	103,209	2,573,522	39,575	2,613,097

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間の取引消去40,978千円、未実現利益の調整額△1,383千円が含まれております。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
プレカット事業	14,692,853	15,183,776
建築請負事業	—	—
不動産賃貸事業	—	—
その他事業	—	—
合計	14,692,853	15,183,776

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 金額は、販売価格によっております。

## 2 受注実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
プレカット事業	16,731,604	4,919,509	14,632,275	4,225,103
建築請負事業	2,949,848	774,978	2,667,964	780,981
不動産賃貸事業	—	—	—	—
その他事業	—	—	102,215	65,684
合計	19,681,452	5,694,488	17,402,455	5,071,769

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 上記「その他」区分の受注高及び受注残高は、開発分譲地における木造注文住宅の建築請負に係るものであります。

## 3 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
プレカット事業	14,625,008	15,175,628
建築請負事業	2,878,641	2,615,472
不動産賃貸事業	536,483	568,264
その他事業	286,703	635,227
合計	18,326,837	18,994,593

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 上記「その他」区分の販売実績のうち、開発分譲地における木造注文住宅の建築請負に係る販売高は、122,782千円であります。